

倫 理 審 査 申 請 書

平成 17 年 3 月 1 日

川崎医科大学・同附属病院
倫理委員会委員長 殿

申請者 大槻剛巳
所属 衛生学
職名 教授
氏名 大槻剛巳

印

※受付番号 98

		所属部署又は 診療科の長印													
1 審査対象：	<input type="radio"/> 実施計画	<input type="radio"/> 出版公表原稿													
2 課題名：	低負荷低頻度トレーニングによる機能訓練と遺伝子多型の関連														
3 主任研究者：	所属 衛生学	職 教授	氏名 大槻 剛巳												
4 分担研究者：	<table border="1"> <tr> <td>川崎医科大学衛生学</td> <td>講師 助手</td> <td>西村泰光 三浦由恵</td> </tr> <tr> <td>福嶋いるかの家グループ 医療法人 福嶋医院</td> <td>理事長・院長</td> <td>福嶋啓祐</td> </tr> <tr> <td>福嶋リハビリテーション学院</td> <td>学院長 専任教員</td> <td>北 昭一 村上慎一郎</td> </tr> <tr> <td>老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター</td> <td>施設長</td> <td>西田聖幸</td> </tr> </table>			川崎医科大学衛生学	講師 助手	西村泰光 三浦由恵	福嶋いるかの家グループ 医療法人 福嶋医院	理事長・院長	福嶋啓祐	福嶋リハビリテーション学院	学院長 専任教員	北 昭一 村上慎一郎	老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター	施設長	西田聖幸
川崎医科大学衛生学	講師 助手	西村泰光 三浦由恵													
福嶋いるかの家グループ 医療法人 福嶋医院	理事長・院長	福嶋啓祐													
福嶋リハビリテーション学院	学院長 専任教員	北 昭一 村上慎一郎													
老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター	施設長	西田聖幸													
5 研究等の概要：	近年の遺伝子多型と疾患感受性に関する検討の進歩と、介護保険制度の中での機能訓練におけるある程度の負荷と頻度の中で行うトレーニングの重要性を鑑み、両者の関連を検討することを目的とする。将来的には、現在、オーダーメイド治療などの可能性が検討されているように、同様の介護や機能訓練の確立に向けた端緒となる検討を想定している。														
6 研究等の対象及び実施場所：	対象：いるかの家リハビリテーションセンターにて新規に低負荷低頻度トレーニングによる機能訓練を開始する高齢者・要介護者様 実地場所：川崎医科大学研究センター（衛生学実験室、組織培養免疫センター及び環境生態センター）老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター														

- 注意事項
1. 審査対象は、いずれか一方に○を付してください。
 2. 審査対象となる研究実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付してください。
 3. 研究実施計画書は、別添の「研究実施計画書作成要領」に従って作成のうえ、本申請書に添付して提出してください。
 4. ※印は記入しないでください。

7 研究等における医学倫理的配慮について

((1)~(3)は必ず記入のこと)

(1) 研究等の対象とする個人の人権擁護

本研究では文書により事前の十分な説明と自由意思による同意を基本として、データ解析には個人名ではなくコード化による匿名性を徹底する。また、研究者の守秘義務を徹底し、データはネットワークに依存しないコンピュータにて解析する。また、発表にあたっては、統計学的な解析のみとし、個人の同定にかかわる結果は用いないこととする。なお、個人情報管理者を川崎医科大学公衆衛生学 勝山博信助教授に依頼し、採取された資料の匿名化を行っていただく。

(2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

いるかの家リハビリテーションセンターにて新規に低負荷低頻度トレーニングによる機能訓練を開始する高齢者・要介護者の方を対象とするが、この際に主任研究者もしくは研究分担者が別紙に添える「対象者説明書類」を提示・配布しつつ、口頭でも説明する。同意が得られた場合には同意の署名を頂くとともに同意撤回書を手渡し、説明書に記された主任研究者までの連絡をお願いする。

(3) 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性に対する配慮

当該研究において、結果については、データ化による個人の特定がない解析システムであるため、結果を出すことにより不利益はないと思われる。

(4) その他

特記事項なし